

えんだより

2018年
9月号

NO. 150



シャローム三育保育園

少しずつ日も短くなり、夕方になると秋の虫の声が聞かれるようになりました。あっという間の夏でしたが、みなさん良い夏を過ごされたようですね。それぞれに楽しい思い出をたくさん作った事と思います。9月に入ると運動会の準備が本格的に始まります。生活リズムを整えて子どもも大人も体調管理を心掛けましょう。

園長 村上 渉



掲示板練習メッセージ9月1日頃配信いたします

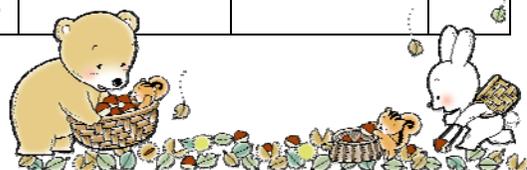
お知らせ

横浜創英大学より、9月25日～10月19日まで毎週3名ずつの看護学部の学生さんが、本園で実習をいたします。良い学びが出来ますようご協力お願いいたします。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
2	3 礼拝	4 体操教室	5	6 英語教室 (3.4.5 歳児)	7	1 /8
9	10 礼拝	11 体操教室	12	13 英語教室 (3.4.5 歳児)	14	15
16	17 敬老の日	18 体操教室	19 避難訓練	20 英語教室 (4.5 歳児)	21 クッキング (3.4.5 歳児)	22
23(秋分の日) /30	24 振替休日	25 クッキング (5 歳児)	26 誕生会 老人ホーム訪問 (4 歳児)	27 運動会リハーサル	28 保育園職員会	29



「夢」

今年も高校野球の熱い戦いが繰り広げられました。皆さんもきっと出身校や地元の代表校の試合では、手に汗握る攻防に一喜一憂された方も多いと思います。東北出身の私は、今年こそは優勝旗が“みちのく”の地に渡ることを夢みながら応援していました。

今年は100回記念大会という事で出場枠が増え合計56校が参加しました。私にとっても今年の大会は特別な思いで注目していました。以前に4年ほど少年野球の手伝いをしていたことがありました。その時の最後の年の子どもたちが野球を続けて高校三年生になり甲子園を目指して頑張っていたからです。多くは地方大会で敗退してしまいましたが、何人かは甲子園出場を決める事ができました。ただ強豪校の層は厚く、レギュラーとして試合に出た選手はいませんでした。高校最後の夏まで頑張った子どもたちが、甲子園のスタンドにいてもワクワクしながら観戦していました。全国の高校球児が甲子園を目指し、更に日本一の夢に向かい努力し続ける事は並大抵の事ではありませんが、その努力と経験は人として大きく成長させ、必ず人生の糧となる事でしょう。

今年も残念ながら私の願いは叶いませんでしたが、最後まで大いに甲子園に大旋風を巻き起こし、100回記念に相応しい多くの人の心に残る大会でした。私もいつかきっと夢がかなう日が来ると信じて応援していきたいと思います。



「親はどんな時でも子どもの一番のファンなんだよ」。少年野球のお手伝いをしている時にある保護者が言った言葉を思い出しました。子どもの夢は家族の夢であり、未来と希望です。これから子どもたちと一緒にたくさんの夢を叶えてください。

園長